

研究テーマ	自己表現力を高めるための「書く活動」の指導の在り方について ～4技能を統合的に活用する授業の在り方～
-------	---

第1学年 組 外国語（英語）科 学習指導案

指導者 仲澤 陽市
A L T Bannister Guy

1 単元名 ベッキーのおばあちゃん Unit 6

2 単元の目標

- 3人称単数現在形を用いて、家族や友人など身近な人について説明をしようとする。
〈コミュニケーションへの関心・意欲・態度〉①
- 3人称単数現在形を用いて、第3者を紹介したり、その人物についてたずねたりする。
〈外国語表現の能力〉②
- 3人称単数現在形を含んだ対話や文章を、聞いたり読んだりして、その内容を理解する。
〈外国語理解の能力〉③
- 3人称単数現在形の文構造を理解する。
〈言語や文化についての知識・理解〉④

3 単元の指導にあたって

(1) 生徒の実態 (男子**名 女子**名 計**名 平成**年9月24日調べ)

質1 次のうちあなたの苦手なものはどれですか？（複数回答可）					
		聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
苦手なこと (%)		**	**	**	**
質2 次のうちあなたの頑張りたいものはどれですか？（複数回答可）					
		聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
頑張りたいこと (%)		**	**	**	**
質3 Unit4を「読むこと」「書くこと」はできますか？（意識調査）					
		ほぼできる	まあまあできる	あまりできない	ほとんどできない
Part1	読むこと (人)	**	**	**	**
	書くこと (人)	**	**	**	**
Part2	読むこと (人)	**	**	**	**
	書くこと (人)	**	**	**	**
Part3	読むこと (人)	**	**	**	**
	書くこと (人)	**	**	**	**

本学級は、男女ともに明るく、素直でまじめな生徒が多い。英語の授業にも意欲的に取り組み、単語練習や音読も大きな声で行うことができる。小学校での外国語活動を通して、英語を聞き、理解しようとする態度が身につけており、英語に慣れ親しんできた様子が見えてくる。

質1のアンケートの結果から、英語を「聞くこと」や「話すこと」への苦手意識は少ないものの、小学校の外国語活動にはなかった「書くこと」と「読むこと」についての苦手意識が高いことがわかる。音と文字のつながりに対してまだ慣れていない生徒が多いことが分かる。また、質2は、英語で身につけたい技能を示している。特に、英語を「話すこと」や「書くこと」といったアウトプット技能の向上を図りたいと考えている生徒が多いことも分かる。

質3はUnit4の音読と書き取りの意識調査の結果である。partにより単語の差があるものの、「読むこと」はできても「書くこと」はできないと感じている生徒が多い。英語を書けるようになりたいという思いがあるものの、音と文字との関連が定着していない生徒が多いことがわかる。

(2) 単元について

本単元は、ベッキーが自分の祖母を写真を使って紹介したり、ブラウン先生と問答をしたりする場面を取り上げている。文法事項としては3人称単数現在形（以下「3単現」）がはじめて扱われており、学習指導要領における学習内容の(3)言語材料の中のエー(ア)ーb「肯定及び否定の平叙文」、そしてd「疑問文の

うち do(does)で始まるもの」にあたる。また、言語の使用場面として、三単現を用いて家族を「紹介する」場面をとりあげていることが特徴的である。この単元を学習することにより、今まで自分と話し相手の情報を中心とした対話活動から第三者の話題を取り入れた対話活動も可能となり、言語活動の幅を大きく広げることができると思われる。

(3) 指導観

アンケートの結果からもわかるように、「話すこと」や「聞くこと」に関しての意欲が高い生徒が多いが、その反面、スピーキングや語順に対して不安を感じている生徒も多い。音声中心の小学校の外国語活動とは異なり、中学校の英語学習では、文字を用いて表現したり、表現したことや学習したことを文字を介して体系的に整理したりしながら、言語材料等を身につけていくことが求められる。そこで、英語を書くためのルール等を段階的・計画的に指導することで、生徒がもつ不安を解消していきたい。まずは、音声を中心にした導入や展開に重点を置いた上で、語彙指導や語順指導を行う。その後、段階的に書く指導を行い、音から文字への移行をスムーズに行っていきたいと考えている。

4 研究テーマとの関連

- 自己表現力を高めるための「書く活動」の指導にあたり、小学校での外国語活動との接続をスムーズに行うことが大切であると考え。小学校の外国語活動で中心となってきた「聞くこと」や「話すこと」といった音声中心の活動を継続して行うことで、抵抗なく英語の学習に取り組みせたいと考える。これまでの復習を兼ね、語彙の定着や英語の語順に慣れることを目的として、帯活動として授業開始のウォームアップで、教科書の音読を取り入れている。

5 指導計画（5時間扱い）

時	学 習 内 容	評 価 規 準（観 点）
1	・ 3単現の用法を理解し、それを用いて第3者を紹介する。	・ 3単現を用いて、第3者を紹介することができる。 ② ・ 3単現の用法（肯定文）を正しく理解することができる。④
2	・ 3単現の疑問文の用法を理解し、インタビューを行ったり、それに応答したりする。	・ ペアでのインタビュー活動に意欲的に参加している。 ① ・ Does he(she) ~?を用いて、簡単な対話をすることができる。 ②
3	・ 一般動詞の否定文の用法を理解する。	・ 3単現（否定文）の用法を理解することができる。 ④
4	・ Unit6を読み、内容を理解する。 ・ 3単現を含んだ内容のリスニングを行う。	・ 本文を読んで理解したり、一般動詞を含んだ英文を聞いて理解したりすることができる。 ③
5 本 時	・ 3単現を用いた発展学習を行う。	・ ペアワークやグループワークに意欲的に参加している。 ① ・ 第3者についてのレポートを作成することができる。 ②
6	・ まとめと自己評価を行う。	・ 文法事項の復習を行い、3単現の用法を理解することができる。 ④

6 本時の指導

- (1) 目標
 - ペアやグループでの活動に意欲的に参加しようとする。
〈コミュニケーションへの関心・意欲・態度〉①
 - 第3者についてのレポートを作成することができる。
〈外国語表現の能力〉②
- (2) 学校教育指導方針努力事項との関連
 - ペアやグループでの活動を多く取り入れ「話す」「聞く」活動を行い、話したことをもとに「書く」「読む」活動につなげるなど、4技能を総合的に育成する指導の充実を図る。

(3) 準備・資料

人物カード, 掲示物, ワークシート (6種類), レポート用紙

(4) 展開

学 習 活 動 ・ 内 容	教師の支援・評価	
	JTE	ALT
1 Greeting	・元気にあいさつをすることで, 英語学習の雰囲気作りを行う。	
2 Warm-up (1)音読を行う。 ・教科書を見て Choral Reading ・教科書を見ないで Choral Reading ・教科書を見ないで生徒だけで Reading	・語と語のつながりや, アクセント・抑揚なども意識するよう助言する。	・段階をおってフレーズやセンテンスごとに区切って音読する。
(2)人物カードの紹介を行う。 ・グループ内で3人を紹介しあう。 (カードを交換して行う)	※既習の内容を音読することで語彙の定着を図ったり, 英語の語順に慣れさせたりする。	
3 本時の課題を知る。 噂の真相を確かめよう。	・同じカードになってしまうところには別のカードを渡し, 多くの表現に慣れさせる。 ⑩ ジェスチャーなどを用いて, ペア活動に意欲的に参加しようとしているか。 (観察: コミュニケーションへの関心・意欲・態度)	
(1)活動内容を知る。	※「読む」→「話す」「聞く」→「書く」の活動を行い, 4技能を統合的に活用できるようにする。	
(2)噂の真相を探るための質問作りを行う。 (個人→グループで確認) ・ Does he like blue? ・ Does she like music? など	・本時の課題を分かりやすく説明する。	・機間指導を行い, 支援する。
(3)お互いに質問しあって, 必要な情報を集める。	・ワークシートをヒントに疑問文作りを行うことを指示する。 ・機間指導を行い, 支援する。	・機間指導を行い, 支援する。 ・未習や綴りの難しい単語への支援を行う。
(4)グループで集めた情報を共有する。	・JTEとALTも情報をもっていることを伝え, 質問させるようにする。 ・生徒の質問に答える。 ⑩ 英語を用いて積極的にコミュニケーション活動へ参加しようとしているか? (観察・ワークシート: コミュニケーションへの関心・意欲・態度)	
(5)個人でレポートの作成を行う。	・機間指導を行い, 3単現の”s(es)”について支援する。 ・未習や綴りの難しい単語への支援を行う。	・機間指導を行い, 支援する。 ・未習や綴りの難しい単語への支援を行う。
5 まとめと自己評価を行う。	⑩ 第3者についてのレポートを作成することができたか。 (ワークシート: 外国語表現の能力)	
6 次時の予告を聞き, あいさつをする。	・本時の取り組みで良かったところを賞賛し, 次時への学習意欲の継続を図る。 ・次時への見通しを立てることで, 学習意欲を高める。	

※研究テーマに迫るための指導の手だて